

看護奨学生だより

2022 年 1 月号

京都民医連あすかい病院副院長 下之内康雄



皆さんこんにちは。現在、あすかい病院で緩和ケア病棟を担当しています。緩和ケア病棟では、「良くなる見込みのない病気」を抱えて苦しんでおられる患者さんに対して、何とか力になれないだろうかということを日々追及しています。そのためには様々な職種や御家族が協力する必要がありますが、特に、日々のケアの場面で患者さんに最も身近な存在となる看護師さんの存在は非常に大きなものです。緩和ケア病棟に限らず、どのような現場においても看護師さんは患者さんにとって大きな支えになる存在です。大変なお仕事ですがとても素敵な存在です。看護師さんになるために頑張っておられる皆さんも、きっと素敵な存在になれるでしょう。

公益社団法人信和会 看護部長 鴨川聡子



新春のご挨拶を申し上げます。昨年も、引き続いて新型コロナウイルスの流行に翻弄され、大変な一年を過ごしてこられたと思います。年明けすぐにも第6波が予測される中、当法人でもあすかい病院をはじめ、各診療所や訪問看護ステーション、介護事業所で様々な対策を講じながら、地域の方々の医療や介護、患者・利用者様の日々の生活を守っていくため、職員が日夜奮闘しております。看護学生には、これから3月までの期間に看護師国家試験や臨地実習が予定されており、どの学年にとっても慌ただしくも大切な時間になります。しっかりと体調管理をしていただき、無事に桜の季節を迎えられることを願っております。

京都民医連あすかい病院 看護部長 征矢陽子



明けましておめでとうございます。マスク生活も3年目を迎えました。上手に息抜き出来るようになっていきますか。病院では、昨年11月に緊急事態宣言が解除されて、地域の方々の生活が戻りつつあり、外来での陽性者は2ヶ月間なく、穏やかな新年を迎えているはず……。そんな状況でも、私達医療者は、やはりウイルスを持ち込まないための対策を継続していかなくてはなりません。3回目のワクチン接種の準備も始まっています。今年も、感染対策をとりながら、いっぱい「看護とは」を考え、実践に活かす準備をしていきましょうね。

京都民医連あすかい病院 副看護部長 山際正樹



奨学生みなさん、あけましておめでとうございます。年末年始はどのように過ごされましたか？学業から少し離れて頭をリフレッシュされた人、休みの時こそ勉強あるのみで頑張った人、色々な過ごし方をされたことでしょうか。どちらも有意義な時間だったのではないのでしょうか。さあ、2022年が始まりました。それぞれ学年によって頑張ることは違うでしょうが、しっかりと目標を持って取り組んでいって下さい。卒年のみなさんは、国試に向けて体調管理をしっかりと行ってくださいね。

法人・病院の取り組み

学運交

10月22日(金曜)から10月23日(土曜)にかけて学術運動交流集会がありました。

学術・運動交流集会は、2年ごとに全国の民医連の事業所の取り組みや研究を報告し交流する民医連の一大イベントです。

コロナ禍だったので残念ながらどこかに集まるということはできませんでしたが、オンラインで開催することができ、2日間でのべ4820のアクセスがありました。

第15回 全日本民医連
学術・運動交流集会

憲法が生きるコロナ後の新しい社会へ力を合わせよう

2021年10月22日(金) 13:30～
23日(土)～15:30予定
オンライン開催

メインテーマ

- 地域の困難に寄り添い、いまこそ「医療・介護活動の2つの柱」を深化させ、人権を守り抜こう
- 共同組織とともにまちづくりをすすめ、住民自治の実践で未来をひらく
- 平和と地球環境を守る国際社会に連帯し、いのち優先する日本へ市民の共同を広げよう



大会は「憲法が生きるコロナ後の新しい社会へ力をあわせよう」をスローガンに、

○地域の困難に寄り添い、いまこそ「医療・介護活動の2つの柱」を深化させ、人権を守り抜く。

○協同組織とともにまちづくりをすすめ、住民自治の実践で未来をひらく。

○平和と地球環境を守る国際社会に連帯し、いのち・暮らし優先する日本へ市民の共同をひろげる。

の3つをメインテーマに開催しました。

あすかい病院の看護部からは、『働きやすい職場づくりを目指してー職場づくりの実践から振り返るー』『就寝時における高齢者への足湯の効果 ～深部の体温調節から睡眠を考える～』『コロナ禍における看護学生委員会活動』『そうだ。往診センターに聞いてみよう。～いつでも繋がる安心で患者、家族を共に支える～』『透析センターにおける地域連携～自宅訪問、多職種カンファレンスを行って～』『緩和ケア病棟における退院調整 ～在宅へ移行できたケースの分析を通して～』の6演題を発表しました。

緊急事態宣言・まん延防止等重点措置
が出てても諦めないっ！

オンラインバージョン → 動画を作成

10:00	挨拶・オリエンテーション
10:10	病院の紹介
10:20	看護師の1日 1か月スケジュール紹介
10:40	看護師の1日スケジュール 動画視聴
11:00	奨学金制度の紹介
11:20	看護師への質問コーナー

看護師との交流は外せないっ！

夏・冬以外にも複数回開催

個別に学校に案内したり、ホームページ・SNSで参加者を募集！

病棟のイメージがわくように看護師の1日を撮影して動画を作成



看護学生委員会からもコロナ禍でおこなってきた活動について発表しました！

学運交では、普段知ることのない他事業所の取り組みなど多くのことを学ぶことができます。全国に事業所がある民医連ならではの企画で、全国の仲間と繋がりのある強みを実感することができました。皆さんも入職したらぜひ学運交に参加してください。

医活交流集会

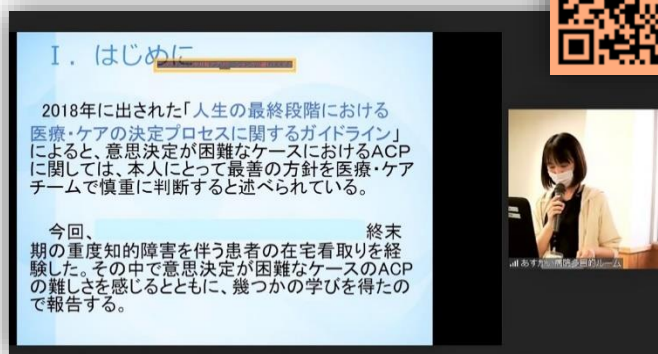
介護の日である11月11日に、あすかい病院で「ACP（アドバンスケアプランニング）」をテーマに医療活動交流集会が開催されました。

ACPとは「患者さんの将来の医療及びケアについて、患者さんの価値観に沿った意思決定ができるように、ご家族などと医療チームが話し合うプロセス」のことです。当院でも少しずつ取り組みを進めています。

今回の集会では、緩和ケア病棟・往診センター・訪問リハビリ・地域医療連携室・医局から取り組み事例が発表されました。それぞれ、患者さんやご家族にとって“何が一番良いことなのか”について、日常的に検討されていることが分かる内容でした。

発表後にディスカッションが行われ、色々な意見が出されましたが、やはり多くの職種で何度も意見を出し合って検討していくことが、より良いケアにつながるのだということに確信を持つことができる集会でした。

※あすかい病院で作成したACP普及のための動画も是非ご覧下さい。



訪問看護ステーションひまわりの紹介



山科区・伏見区北部の地域で訪問看護を行っています。

住み慣れた地域・自宅で、安心して自分らしく生活して頂けるよう支援しながら、地域に愛される“ひまわり”を目指しています。

訪問看護大好き♥な常勤看護師6名と事務1名で、元気いっぱい・明るく・楽しく、毎日地域を走り回っています。

実習の期間に、訪問看護の魅力を沢山知って頂き、いずれは訪問看護をやりたい！と希望して下さる事を願っています。

あすかい病院 キラッと看護

これからも私たち看護師はたくさんの患者さんに寄り添っていきます

地域包括ケア病棟の入院中の患者さんの中には、1人でいるのが寂しくて「ひま～」とおっしゃって看護師のところへ来られる方がいます。

看護師は業務をしながらお話をしたり、手を広げてハグを求められればハグをしたり、手相を見てもらったり…。いつしか毎日その患者さんは毎日詰所に来られるようになりました。この方にとっては地域包括ケア病棟が居場所になったのかもしれません。



急性期病棟では、状態が悪い方も多く入院されています。先日、全身状態が悪く、人生の残りの時間がもう長くはないと予想される患者さんがおられました。看護チーム内で、何かできることはないかとカンファレンスを行い、患者さんが好きであった朝ドラを毎日みてもらおうと、チーム内で統一して取り組みました。

それにより、最期の時まで毎日朝ドラをみてもらうことができました。朝ドラをみることで、どこまで楽しんでもらえたか分かりませんが、良い時間を提供できたのではないかと思います。

あすかい病院栄養課の紹介

栄養課には調理師、調理補助、管理栄養士があり、1日約500食を作っています。食事の形態は普通菜、軟菜、やわらか食・ミサー食・ゼリー食などの嚥下調整食、注入食や流動食があります。

約65%が80歳以上と高齢患者さんです。おいしさの要素には、味、香り、見た目、献立、ボリューム、温度などありますが、高齢の方にとっては“食べやすさ”も大切なポイントです。隠し包丁を入れたり、少し軟らかめ、小さめ、薄め、細め、しっとり仕上げるなど安全においしく召し上がっていただけるよう工夫しています。

薄味でおいしく食べていただけるよう、だし汁は毎日丁寧にとっています。手作りコロッケは人気メニューです。

月に1度は季節・行事食の日を設け、「いつもと違うハレの日感」をお届けしています。

患者さんに寄り添う看護師さんからの情報は栄養課にとって貴重です。

看護師になられた皆さんと一緒に食事のことを考えられる日を楽しみにしています。

